



新任民生児童委員の声

この1年を振り返って

令和4年12月～令和5年7月に委嘱された45名の新任委員に対し、約1年間の民生児童委員活動の感想や今のお気持ちをお聞きしました。

Q 1

民生児童委員を受ける前と後で、気持ちに違いはありましたか？



- ・思っていた以上に活動が忙しかった。
- ・受ける前は心配していたが、スタートしてみると地域との交流が増え、安心して取り組むことができている。
- ・地域の方や高齢の方を意識するようになった。
- ・大変だというイメージがあったが、仲間に助けをもらいながら、この1年なんとか乗り越えることができた。
- ・何がしてあげられるのか、何かできることはあるのか、何もできなくても気持ちを寄せておくことも支援のひとつだと思うようになった。

- ・差別なく誰でも受けられるもの。
- ・必要としている人すべてに届いているのか、どうしたら届くのかと思う。
- ・福祉とは社会全体で支えあうことだと思うので、まず福祉に関する情報を集めて、自分に何ができるかを考えたい。
- ・いろいろなサービスがあるけれど、的確に必要とされている人に伝えられていないのがもどかしい。

Q 2

福祉についてのご自身の考え方をお聞かせください



Q 3

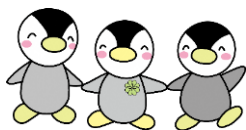
民生児童委員活動を行う中で、困ったことはありましたか？



- ・わからないことだらけで、何を聞けば良いかわからなかった。
- ・相談ごとに対し、どこまで踏み込んだらいいのか迷ったことがあった。判断に困ったときは、地区会長に相談している。
- ・プライバシーが厳しくなっている中、対応や聞き方について難しく感じている。
- ・民生児童委員は「つなぐ」ことが仕事と聞いていたが、つないだ後の情報共有の仕方、どこまで何をすべきか等、まだ理解できていないので確認していきたい。

Q 4

その他ご意見をお聞かせください



- ・モバイル PC を活用して活動していきたい。
- ・これからいろいろ未体験のこともでてくると思うので、民生児童委員同士で体験談など話し合いをしていきたい。
- ・様々な研修を受けることで意識が深まった。
- ・民生児童委員のなり手不足の問題や、今後民生児童委員のあり方についても考えていかないと…。
- ・まだまだわからないことが多いが、少しずつ覚えていきたい。

3月下旬～6月にかけて

高齢者訪問調査を実施いたします



毎年、75歳以上の単身者と高齢者のみ世帯を対象に、民生児童委員による高齢者訪問調査を行っています。

令和5年度には、9,475件の調査を行いました。そのうち支援が必要な394人を地域包括支援センター等へつなぐことができました。

今年度も、3月下旬から6月にかけて訪問調査を実施いたします。民生児童委員には守秘義務がありますので、お気軽にご相談ください。



お知らせ

令和6年1月、中野区民生児童委員協議会として、「東京善意銀行『東京の児童養護施設や里親から巣立つ若者にエールを！』クラウドファンディング」に協力いたしました。

福祉 の なかま

No.11 中野区社会福祉協議会(地域活動推進課) 関 真実さん(桃園地域担当)

桃園地域では、特色のあるサロン活動が活発に行われています。2年前にはフードパントリーを通じて、子育て世帯を応援しました。昨年6月には子ども食堂がオープンし、今年は高齢者向けの食堂がオープンする予定です。

こういった取り組みの中から地域での課題を共有し、これからも民生児童委員のみなさまと共に、人と人とのつながりを大切にしながら、誰もが楽しく安心して暮らせる地域づくりをしていきたいです。



▲ 子ども食堂のスタッフの皆様

編集：中野区民生児童委員協議会広報委員会

委員長：田中恵子/副委員長：堀越みゆき/酒井得子/寺崎益枝/小島修一/間瀬敬子/濱田勝江

発行：中野区地域支えあい推進部地域活動推進課民生児童委員担当 電話：03-3228-5582